

緒 言

2020-2021 年度代表幹事 三山雅子

『経済社会とジェンダー』第5巻をみな様へお届けいたします。

毎年、学会誌を発刊できることは当学会の着実な発展を示すものであり、喜ばしいことです。それに加え、今年はコロナウイルスで世界全体が揺れる中、本学会会員が所属する大学も対面での授業の中止、学内への立ち入り禁止等、異例の事態が続いております。その対応に追われる中での学会誌発刊であり、無事発刊できたことに、当学会としても安堵しております。これもひとえに会員のみな様と編集委員会のご尽力の賜物です。ここにお礼を述べるとともに、引き続きのご協力をお願いいたします。

本号は、特集「東南アジアの経済成長とジェンダー——女性の移動・労働・定住」と研究ノート、活動報告よりなります。特集はアベノミクス・働き方改革を取り上げたこの2年間の大会テーマとも関連するものです。特集は経済成長が続く東南アジア国内の女性労働の現状・移住労働の在り方や日本にすでに定住している女性の現況から、日本の外国人労働者受入政策を検討するもので、今回の外国人労働者拡充政策に賛成・反対の論者のどちらもが当然のこととしている「貧しいアジアの外国人労働者たちは、日本で働きたいと考えている」という政策論議の前提を撃つものとなっております。研究ノートにはタイから日本への移住女性および新自由主義潮流におけるフランスの立ち位置をめぐる論考が掲載されております。また活動報告・学術情報活動からは当学会の活動が国内的にも国際的にも広がっていることがわかります。

お忙しいなか寄稿いただいたみな様にお礼を申し上げるとともに、力作揃いの諸論考がぜひみな様に広く読まれることを願っております。